

鑑定書

こちらの鑑定書は、サービスの雰囲気や内容をご紹介しますために作成した[サンプル\(見本\)](#)です。

掲載されているご相談内容や人物設定は、すべて架空のものであり、実際のご依頼や個人情報とは一切関係ありません。

実際の鑑定では、お預かりしたご相談やお話は、外部に公開することは一切なく、大切に守らせていただきますのでどうかご安心ください。

また、本文の文章や構成などには著作権がございます(小鳥遊陽柊に帰属します)。

どうか無断での転載やコピー、模倣はお控えいただけますようお願いいたします。

小鳥遊 陽柊

佐山様へ

佐山さん、改めてこの度は、数ある鑑定の中からご依頼いただき、心より感謝申し上げます。

最近、直属の上司であるAさんの言動に一貫性がなく、その本心が見えず戸惑っていらっしゃる様子、心中お察しいたします。職場の人間関係は、私たちの心身に大きな影響を与えるものですから、ストレスを感じてしまうのも当然のことです。

「相手が何を考えているのか分からない」という状況は、時に想像以上に心を疲弊させ、仕事へのモチベーションにも影響を与えかねません。

それでは、さっそくお悩みを解消するために、Aさんの本心と、関係改善への鍵を一つずつ紐解いていきたいと思います。

小鳥遊 陽柊

ご相談内容（頂いた内容をそのまま転載しております。）

最近、直属の上司であるAさん（40代男性）の言動に悩んでいます。

具体的な指示があいまいな時があるかと思えば、急に厳しい口調になったり、褒めてくれたり...と一貫性がなく、どう接すれば良いのか分かりません。

私に対して不満があるのか、それとも期待しているのか、本心が見えず、ストレスを感じています。

タロットで、上司のAさんが私に本当に望んでいること、私のことをどう思っているのか、その本心を教えてください。

また、私が今後、Aさんとどのように接すれば、この状況が改善されるか、具体的なアドバイスもいただけますでしょうか。

◆Key to relationships Tarot◆.....	1
佐山さんのカード展開.....	1
現状・滞りの核心.....	2
佐山さんと上司Aさんとの現状 皇帝(逆).....	2
上司Aさんの気持ち.....	4
Aさんが自覚している佐山さんへの評価 女教皇(正).....	4
Aさん自身が気づいていない本心 カップの女王(正).....	5
佐山さんにおすすめするアクション.....	8
佐山さんが変えるべき思考 or 対応 ワンドの8(逆).....	8
関係改善へ向けて取る一手.....	9
近未来に起こるであろう変化 ソードのページ(逆).....	13
関係性を好転させる鍵について カップの8(正).....	15
総括.....	17

◆Key to relationships Tarot◆

佐山さんのカード展開



現状・滞りの核心

佐山さんと上司Aさんとの現状 皇帝（逆）



現在、佐山さんと上司Aさんとの間には、秩序や方向性の軸がやや欠けている印象があります。

上司としての立場にあるAさんとの間に「皇帝」の逆位置が出たとき、それはリーダーシップや統率力が揺らいている状態を意味します。

本来であれば部下を導く存在であるべきAさんが、感情的な言動や曖昧な指示を繰り返す背景には、「上に立つ者」としての自信の低下や、現在の職務に対する明確なビジョンを持ちきれない葛藤がある可能性が高いのかな、と思われます。

佐山さんから見てAさんの言動が一貫せず、不安定に感じられるのは、彼自身がその揺らぎの中にいるからかもしれません。その結果、場当たりの態度や極端な指導スタイルになりやすく、佐山さんはその揺れの矢面に立たされ、強い

サンプル鑑定書

ストレスを受けているのではないのでしょうか。

この滞りの核心には、「Aさんの不安定さは、佐山さん個人への不満ではなく、自身の統率者としての在り方に対する不安」だという点が見え隠れしています。

Sample © Haruhito

上司Aさんの気持ち

Aさんが自覚している佐山さんへの評価 女教皇（正）



Aさんが佐山さんに対して意識的に抱いている印象は、「女教皇」の正位置が象徴するように、冷静さ・知性・洞察力といった資質に対する高い評価です。

佐山さんは感情に流されず、状況を的確に見極めて行動できる人物として信頼されているようです。Aさんの中では、佐山さんには「言わなくてもわかってくれる」という期待が強く、指示が曖昧になるのは、その賢明さに甘えてしまっている側面があるかもしれません。

また、Aさんは自身の考えを言語化することがあまり得意ではないのかもしれません。そのため、無意識に佐山さんの理解力や対応力に頼る形になっている可能性もあります。

時に厳しい言動に出るのは、佐山さんの能力への信頼が前提にあり、「もっとできるはずだ」という期待値が裏にあるためかと推測されます。その期待の高さが、コミュニケーション

において微妙なすれ違いを生んでいるとも言えるでしょう。

Aさん自身が気づいていない本心 カップの女王（正）



Aさんの深層心理には、「カップの女王」が示すように、佐山さんに対して情緒的な理解や包容を求める気持ちが潜んでいます。

彼は自分でも気づかぬうちに、佐山さんの中に「自分の感情を受け止めてくれる存在」を見出している可能性が高いのかもしれませんが。表面的には理性を重んじる態度をとっていても、内面では自分の不安や揺らぎを察して寄り添ってほしいという、繊細な願望が根底にみられるようです。

そのため、佐山さんに対しては無意識に「理解してほしい」「癒してほしい」という期待が高まり、それが満たされないと、厳しい態度や矛盾した反応となって表れてしまう・・・という感じじゃないでしょうか。

彼の言動の一貫性のなさは、仕事上の指揮系統と感情の

サンプル鑑定書

支えの両方を同時に佐山さんに求めていることの表れかもしれません。Aさんは佐山さんに対し、理性と感性の両面でのつながりを本能的に求めているといえそうです。

Aさんが佐山さんに対して思っていること

Aさんの態度が一貫せず、佐山さんを戸惑わせている理由は、彼の「顕在意識」と「潜在意識」のあいだにあるギャップに起因しています。

まず、表面的に意識されているレベルでは、Aさんは佐山さんの能力を非常に高く評価しているようです（女教皇・正）。

冷静さ、知的な判断力、そして感情に流されない仕事ぶり、それらが、上司としての彼の信頼を集めています。佐山さんならば、多少説明が足りなくとも察して動いてくれる、という「暗黙の信頼」があるため、あえて指示を省略したり、逆に厳しく求めるような場面が生じているのではないのでしょうか。

実際にはそれが佐山さんにとっては曖昧さとプレッシャーとしてのしかかっていることに、彼はあまり気づいていない可能性があります。

サンプル鑑定書

しかし、彼の深層心理（カップの女王・正）に目を向けると、まったく別の期待が浮かび上がります。

Aさんは無意識のうちに、佐山さんに「情緒的な理解者」や「精神的な支え」としての役割も求めているようです。職場の責任やプレッシャーのなかで、彼自身が抱える不安や孤独、あるいは自信の揺らぎを、佐山さんに優しく受け止めてもらいたいという欲求が潜在している可能性がとても高いように見受けられます。

理知的なやり取りの裏で、感情的な共感や安心を佐山さんに投影しており、その結果、指示のあとに褒めたり、唐突に厳しくなったりと、彼の言動に一貫性のなさが表れるのじゃないかと推測されます。つまりAさんは、「優秀な参謀としての佐山さん」と「情緒を癒す存在としての佐山さん」を同時に求めている状態にあります。

これは佐山さんへの不満ではなく、むしろ過剰なまでの期待と信頼の裏返しとも言えるでしょう。こうした理解を持つことで、彼の矛盾した態度の背景が見えやすくなり、佐山さん自身の受け止め方にも変化が生まれるかと思います。

佐山さんにおすすめするアクション

佐山さんが変えるべき思考 or 対応 ワンドの8(逆)



佐山さん側の課題として示された「ワンドの8(逆)」は、焦りや過剰なスピードが、かえって誤解や混乱を招いている可能性を指摘しています。

Aさんの言動に対して、佐山さんは「早くはつきりさせなければ」と急ぐあまり、答えを性急に求め、深い意図を探る前に対応してしまっているようなことはないでしょうか。

その結果、Aさんの発言の裏にある意図や背景を見落とし、すれ違いや不信感を生むきっかけになっている可能性があります。

またこのカードは、「行動力の空回り」も暗示しています。佐山さんの判断の速さや先回りの気配りは本来の強みですが、今はむしろ一歩引いて状況を観察し、必要に応じて確認を入れる冷静さが求められています。

サンプル鑑定書

対話のテンポを意識的に落とすことで、Aさんの真意や微妙なニュアンスが見えてくるかと思われます。今は「動くこと」より「聴くこと」、即応よりも「間」を大切にする姿勢が、関係改善の第一歩となるでしょう。

関係改善へ向けて取る一手



関係改善に向けた具体的なアクションとして、「ペンタクルの 4」の逆位置が示されています。このカードは、佐山さんにとってのキーワードが「手放すこと」と「開くこと」であると伝えています。

今の佐山さんは、「上司なのだから指示は明確であるべき」「私はミスせず完璧に応えるべき」といった正しさを無意識のうちに強く握りしめているのかもしれません。しかし、そのこだわりこそが、柔軟な対応や自然な対話の妨げになっている可能性があります。

Aさんとの関係を築き直すには、まずその固定観念を緩めることが大切です。そして、「分からないことは質問してよい」「確認をすることは迷惑ではない」と自分に許可を出すこと

です。

また遠慮や自己完結ではなく、途中経過を共有し、小さな疑問も素直に投げかけてみてはどうでしょうか。「この点だけ、もう少し教えていただけますか？」と丁寧に訊ねるだけでも、Aさんの対応は変わってくるはずです。

情報や気持ちを閉ざさず開いていく姿勢が、停滞していた関係に良い流れを呼び込むと思われます。

上司Aさんとの関係性を改善するための 佐山さんのアクションは

佐山さんがAさんとの関係性を改善していく上で、最も大切なのは「焦り」と「固定観念」を手放すことです。

今回出ている「ワンドの8(逆位置)」は、佐山さんがAさんの曖昧な言動に戸惑いながらも、すぐに正解を求めてしまい、結果として早合点に陥ってしまう傾向を示唆しています。

Aさんの真意を深く探る前に、急いで行動や解釈を決めてしまうことで、かえって彼とのギャップが生じてしまっている

サンプル鑑定書

可能性があります。特に、言葉足らずな指示に対しては、冷静さを取り戻し、じっくりと「なぜ今、そういう言動が出たのか？」を観察する姿勢が必要です。

さらに「ペンタクルの4(逆位置)」からは、佐山さんの内側にある「こうあるべき」という期待やプライドを見直すことが求められています。

たとえば、「上司は部下に的確な指示を出すべき」「私はミスをせず、空気を読んで動かなければならない」といった前提があると、それに反した言動にストレスを感じやすくなります。

このカードは、そうした枠組みを少し緩め、より柔軟で開かれたコミュニケーションを意識することが関係改善の鍵であると告げています。

実践的には、「確認」と「共有」がポイントになるかと思います。Aさんの指示に曖昧さを感じたとき、「～という理解でよろしいでしょうか？」とワンクッション置いて確認するだけで、解釈のズレを未然に防ぐことができます。

また、仕事の進捗をこまめに伝えることも有効です。「現在ここまで進んでいます。この方向で進めて問題ありませんか？」というような途中報告を入れることで、Aさんも自身の認識を見直しやすくなり、コミュニケーションの質が上がるでしょう。

さらに、疑問点を一気に訊くのではなく、質問を細分化して投げかけることも効果的です。たとえば Yes/No や選択肢形式で訊ねることで、Aさんの中で混在している理性と感情の両面に配慮することができます。

こうした「柔軟な対応力」と「冷静な観察力」をバランスよく活かすことが、佐山さんの魅力でもあると思います。

スピードを緩め、前提を手放し、対話を開いていく。それが、Aさんとの信頼関係を再構築するための最も現実的で効果的な道筋かと思います。

近未来に起こるであろう変化

ソードのページ(逆)



佐山さんがこれまでの思考パターンを見直し、柔軟なコミュニケーションを意識して行動を始めた直後、1～3週間ほどの間に、やや混乱を感じる出来事が起こるかもしれません。

ソードのページ逆は、「コミュニケーションの過渡期」を象徴しており、Aさんが佐山さんの変化に戸惑い、かえって質問が増えたり、指示が一時的に曖昧になるなどのズレが生じる可能性を示しています。

ただし、それは関係性が本格的に動き始めたサインです。Aさんも、佐山さんの姿勢に応えようとしながら、自分の伝え方を試行錯誤している段階にあります。

この時期は、お互いのペースや言葉のズレを擦り合わせる「練習期間」として捉えてください。質問には簡潔に、しかし冷静に対応する姿勢を保つことで、やがてやり取りの質が

サンプル鑑定書

安定し、信頼の基盤が強まっていくでしょう。

Sample
Charuhit

関係性を好転させる鍵について

カップの8(正)



佐山さんと上司Aさんとの関係性を好転させるために、最も重要な鍵として「カップの8」の正位置が現れました。

このカードは、満たされない状況からの精神的な旅立ちを象徴しており、ここで言う「立ち去り」とは、物理的な距離ではなく、「期待や執着から心を離すこと」を意味しています。

これまでのやり取りの中で、佐山さんはAさんの一貫しない指示や態度に戸惑い、早く答えを出したいという焦りから、一人で多くを抱えてきたようです。

Aさんの不安定さに対し、佐山さんは「察して動く優秀な部下」と「感情を受け止める聞き役」を同時に担ってきたかもしれませんが、その姿勢は、佐山さんを疲弊させただけでなく、Aさんが自らのリーダーシップに向き合う機会を奪っていた可能性もあります。

「カップの8」は、こうした役割から一歩引き、「私はもうその役を降りてもよい」と内心で線を引くことを勧めています。

それは冷たい態度ではなく、むしろ自他を尊重した成熟した関わり方です。Aさんに対しては、必要以上に感情で応えず、「それは具体的にどの点でしょうか?」「方向性としてはAとB、どちらを優先されますか?」といったように、やりとりを『言葉のやりとり』にシフトしていくことも効果的です。

ワンドの8(逆)で示されたように、急がず、確認を丁寧に挟む姿勢を意識してください。ペンタクルの4(逆)が促すように、成果を一人で抱え込まず、情報を小出しに共有していくことで、Aさんは「説明しないと伝わらない」という新しい前提を学びはじめます。そして、佐山さん自身もまた、Aさんの情緒に過剰に巻き込まれず、冷静で安定した立ち位置を保てるようになると思われます。

この「精神的な旅立ち」は、佐山さんの自己主張や尊厳を守ることであり、同時にAさんとの関係に新たな構造をもたらす鍵です。期待を手放したときこそ、本当の信頼関係が築かれていくものだとし小鳥遊は考えています。

総括

この度の鑑定で、佐山さんを悩ませていた上司Aさんの言動の背景には、多層的な理由が隠されていることが明らかになったかと思います。

まず、滞りの核心には、「皇帝（逆）」が示すAさん自身のリーダーシップの揺らぎや、職務に対する内なる不安が潜んでいました。彼の言動の一貫性のなさは、佐山さん個人への不満ではなく、彼自身の自信の揺らぎが反映されている部分が大きいといえます。

Aさんの佐山さんへの思いは、顕在意識と潜在意識で異なる様相を見せています。表面的には、「女教皇（正）」が示すように、佐山さんの冷静さ、知性、洞察力を高く評価し、「言わずとも察してくれる」という期待から指示が曖昧になっているようです。

しかし、彼の深層には「カップの女王（正）」が示す、情緒的な理解や包容を求める繊細な願望が潜んでいます。つまり、Aさんは「優秀な部下としての佐山さん」と「感情を受け止める支えとしての佐山さん」の両方を、無意識のうちに佐山

さんに求めている状態にあるのです。彼の矛盾した態度は、この二つの期待が混在していることに起因しています。

こうしたAさんの本心を踏まえ、佐山さんにお勧めしたいのは、「焦りと固定観念を手放し、コミュニケーションの質を再構築する」ことです。

「ワンドの8(逆)」が示すように、Aさんの曖昧な言動に対し、佐山さんが性急に答えを求め、早合点してしまう傾向を見直すことが大切です。一度立ち止まり、冷静に観察する「間」を持つことで、Aさんの真意が見えやすくなります。

そして、「ペンタクルの4(逆)」が促すのは、「上司はこうあるべき」「私は完璧に応えるべき」といった、無意識に握りしめている正しさやこだわりを手放すことです。

代わりに、「分からないことは質問してよい」「途中経過を共有してよい」と自分に許可を与え、より柔軟で開かれたコミュニケーションを心がけてください。具体的な「確認」と「共有」を意識し、疑問点を細分化して投げかけることで、Aさんも「言葉で伝える」ことの重要性を学び始めることでしょう。

この関係性を好転させるための最終的な鍵は、「カップの8（正）」が象徴する「精神的な旅立ち」、つまり「期待や執着から心を離すこと」にあります。

佐山さんはこれまで、Aさんの不安定さに対し、無意識に多くの役割を担い、心をすり減らしてきたかもしれません。しかし、これからは必要以上に感情に巻き込まれず、客観的で冷静な立ち位置を保つことで、佐山さん自身の尊厳を守りつつ、Aさんとの間に健全な境界線を築くこともできます。

これは決して冷たい態度ではなく、自他を尊重した成熟した関わり方であり、Aさん自身が自身のリーダーシップに向き合うきっかけにもなるでしょう。

近未来には「ソードのページ（逆）」が示すように、一時的にコミュニケーションのズレや混乱が生じるかもしれません。しかし、これは関係性が本格的に動き出した証拠です。この時期を「お互いの擦り合わせ期間」と捉え、冷静に対応することで、やがてやり取りの質が安定し、信頼の基盤が強まっていくはずです。

この鑑定が、佐山さんが上司Aさんとの関係性をより健全で建設的なものへと導き、ストレスから解放され、職場での充実感を取り戻すための一助となることを心より願っております。



たかなし はるひ
小鳥遊 陽柊

【公式HP】小鳥遊陽柊占い鑑定 Room

<https://takanashi-palmread.com/>

各種鑑定・講座メニュー

<https://takanashi-palmread.com/menu>

